

5 豊かな自然環境の保全と安全・安心な環境づくり

自然豊かな水辺環境づくり

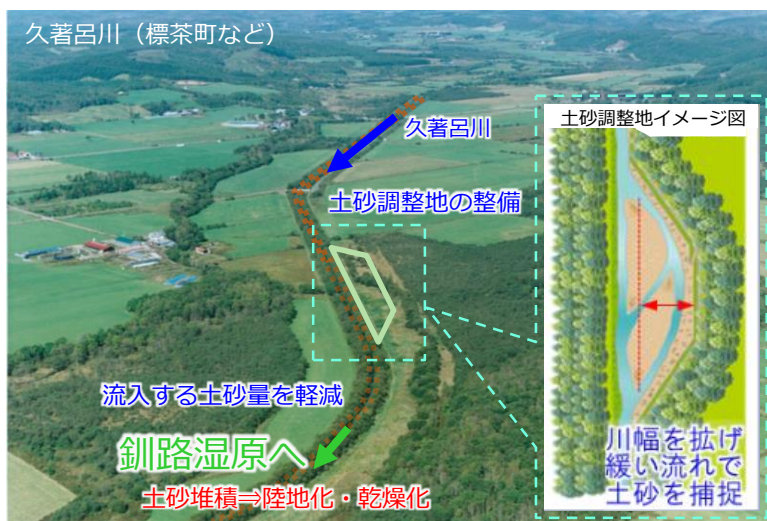
《主な施策》

● 自然豊かな水辺環境の整備・保全

- ・ 河道の連続性に配慮した砂防施設の整備 【居辺（おりべ）川（上士幌町）など】
- ・ ラムサール条約登録湿地等における自然再生事業の推進
【釧路湿原・ヌマオロ地区（標茶町）、夕張川（南幌町）、
久著呂（くちよろ）川（標茶町など）など】
- ・ 良好な水辺環境の保全・創出を推進
【漁川（恵庭市）、網走川（網走市）、十勝川（帯広市）、
利根別川（岩見沢市）、松倉川（函館市）など】
- ・ 緑豊かな水辺環境に配慮した砂防施設の整備
【蒜沢（にんにくさわ）川（函館市など）など】
- ・ 水生生物の生息環境を創出する防波堤の整備 【釧路港（釧路市）など】
- ・ 在来植生に配慮した急傾斜崩壊防止施設の整備 【釧路南大通1地区（釧路市）など】

▼ 河川環境の再生や自然に配慮した施設整備

- 釧路湿原（ラムサール条約登録湿地）の陸地化・乾燥化の一因となる土砂の流入を軽減する土砂調整地の整備イメージ



- 緑豊かな水辺環境に配慮した遊砂地



- 水生生物の生息環境を創出する防波堤の整備



- 在来植生に配慮した急傾斜地



地球温暖化防止や健全な水環境に貢献する森林づくり

《主な施策》

●健全な森林の整備と保全の推進

- ・伐採後の確実な植林や間伐、路網整備などの森林整備の推進

【森林環境保全整備事業（枝幸町、浦幌町など）】

【森林基盤整備事業（当別町、置戸町など）】

【林道整備（地方創生道整備交付金）（乙部町、東川町）】

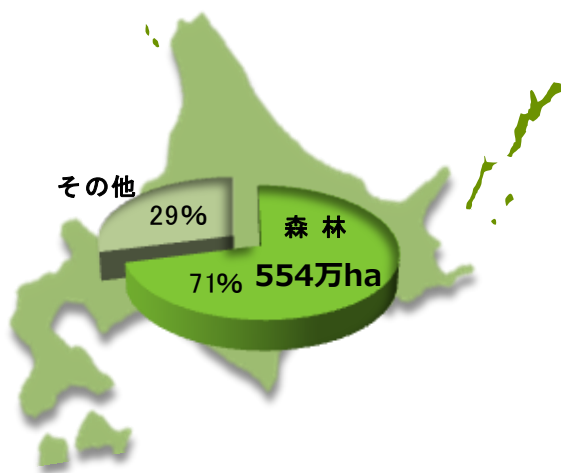
- ・保安林の整備や適切な管理・保全の推進

【保安林整備事業（美深町、豊浦町など）】

【水源地域整備事業（名寄市、むかわ町など）】

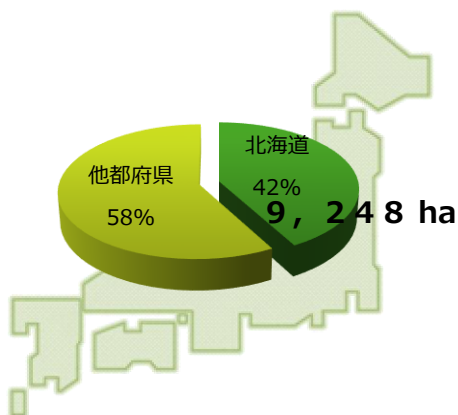
▼森林整備の推進

○森林面積の道内シェア（H29）



▼保安林の整備や保全の推進

○造林面積の全国シェア（H29）



誰もが安心して暮らせるまちづくり

《主な施策》

- **子育て支援住宅の普及促進など安心して子どもを産み育てられる環境づくり**
 - ・ **子育て支援の充実を図る公営住宅の整備**
【道営住宅：大中山団地（七飯町）、市町村営住宅：上厚真子育て団地（厚真町）など】
 - ・ **公園施設の改築更新による安全で安心して利用できる、魅力ある公園の整備**
【北海道子どもの国（砂川市）、緑ヶ丘公園（苫小牧市）など】
- **ユニバーサルデザインの視点に立った人にやさしいまちづくり**
 - ・ **子どもからお年寄りまで安心して暮らせる住まい・環境づくり**
【市町村営住宅：東町たいわ団地（室蘭市）、東中団地（中標津町）など】
 - ・ **幅の広い歩道や段差のない歩道の整備**
【深川雨竜線（深川市）、停車場通（伊達市）、旭大通（苫小牧市）など】
 - ・ **民間住宅を活用した住宅セーフティネットの推進** 【民間住宅等関連事業（道内全域）】
- **安全で安心な道路交通環境の整備**
 - ・ **幹線道路や通学路等における交通安全事故対策の推進**
【国道230号喜茂別事故対策（喜茂別町）、交通安全対策（地区連携）旭町・大町地区（旭川市）、基線通（恵庭市）、文教通（函館市）など】
 - ・ **地域の医療を支える交通ネットワークの整備**
【北海道縦貫自動車道 土別剣淵～名寄（土別市・名寄市）、江差木古内線（上ノ国町、木古内町）など】

▼子育て支援住宅の普及推進



建物の中では・・・



▼ユニバーサルデザインによる公営住宅



取り外し可能な間仕切
(身体状況の変化に応じて介助スペースの確保を可能とする多様性への対応例)

- 重点項目 ○少子化対策及び子どもの貧困対策の抜本的な強化・拡充（P7）
○高規格幹線道路網等の整備促進（P18）

《主な施策》

●冬期における安全で快適な道路交通の確保

・冬期交通確保のための除排雪の充実

【道内全域における除排雪の充実、除雪機械等の更新、増強（小樽市など）】

・鉄道駅周辺・中心市街地・通学路などを中心とした歩道除排雪の充実

【道内全域における歩道除排雪の充実】

・冬期を踏まえた歩行空間の確保のための広幅員歩道の整備

【国道242号道道本別留辺薬線交差点改良（本別町）、東川東神楽旭川線（東神楽町）】

・地吹雪・雪崩対策など、冬に強い道路施設等の整備

【国道44号根室防雪（根室市）、国道238号紋別防雪（湧別町・紋別市）、江別奈井江線（新篠津村）、八雲北檜山線（八雲町）、稚内幌延線（稚内市）、小向元紋別線（紋別市）、根室半島線（根室市）など】

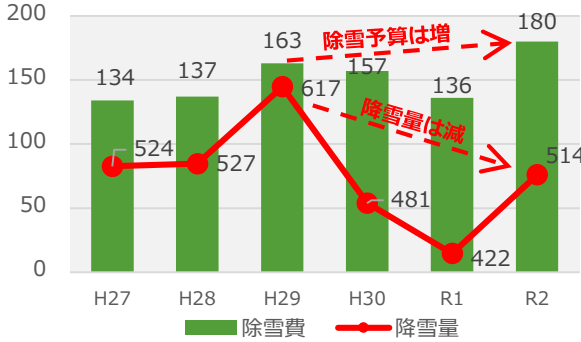
▼本道の現状を踏まえた除雪予算等の確保

○除雪予算の推移（H27～R2）

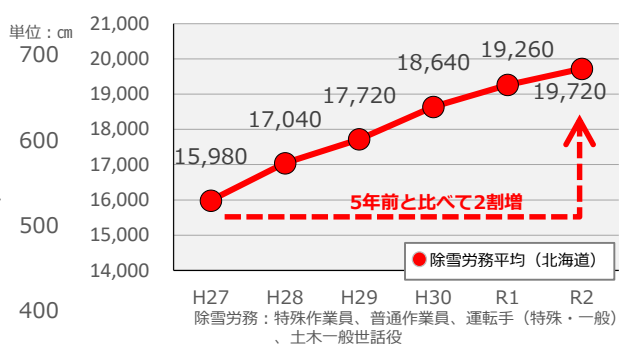
※R2の除雪費は過去5ヶ年の平均値から算出した見込額

◇労務費や諸経費率の増加により除雪予算は年々上昇

単位：億円（R2は見込額） ※令和元年度は記録的な少雪であったが、除雪予算は上昇している

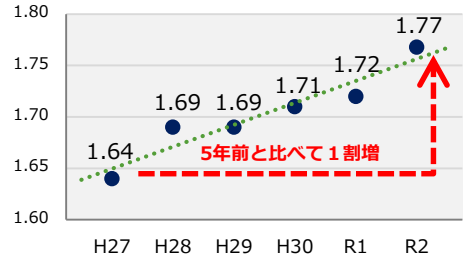


◇公共工事労務単価は年々上昇



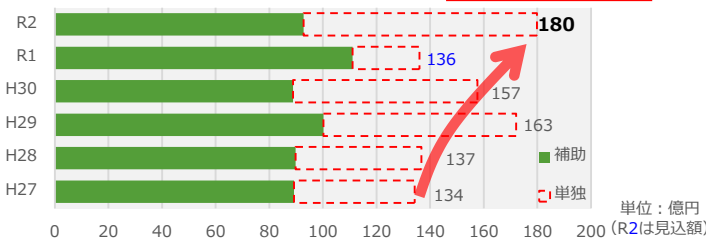
◇近年の除雪業務の諸経費率の推移

(諸経費率)



計算条件：直接工事費（5千万円、10千万円）に対して、諸経費率を年度毎で平均したもの（北海道建設部調べ）

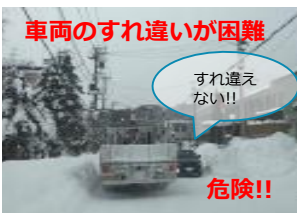
◇除雪予算の内訳 ※単独は増加傾向（道負担の増）



◇運搬排雪への影響（H29実績をR2単価で実施する場合）

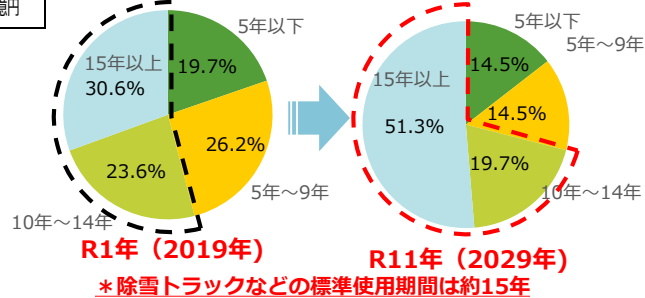
	H29	R2	H29との差	備考
全排雪単価	504円/m ³	703円/m ³	199円増	R2/H29=1.4
全道排雪回数	262回	188回	74回減	H29排雪額：10億円

◇除雪が滞った場合の道路利用者への影響



◇保有除雪機械の経過年数

※今後10年で老朽化した機械が71%を占める



*除雪トラックなどの標準使用期間は約15年

北海道らしい循環型社会の形成

《主な施策》

● リサイクル・廃棄物処理施設の整備

・ 廃棄物処理施設及び浄化槽の整備

【廃棄物処理施設（札幌市、釧路市）、浄化槽整備事業（岩見沢市、厚真町）など】

・ 下水汚泥処理施設の集約化及び減量化施設の整備

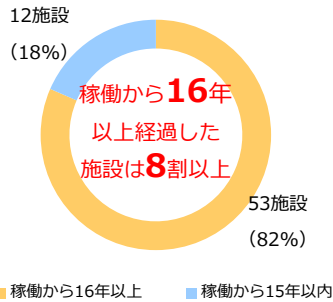
【余市町、浦河町など】

▼ 廃棄物処理施設の整備

○ 廃棄物処理の老朽化の状況

◇ 道内のごみ焼却施設の稼働年数別施設数

稼働年数	施設数	割合
31年以上 (1989 ~)	16	24.6%
26～30年 (1990 ~ 1994)	14	21.5%
21～25年 (1995 ~ 1999)	14	21.5%
16～20年 (2000 ~ 2004)	9	13.8%
11～15年 (2005 ~ 2009)	4	6.2%
6～10年 (2010 ~ 2014)	4	6.2%
0～5年 (2015 ~ 2020)	4	6.2%
合計	65	100%



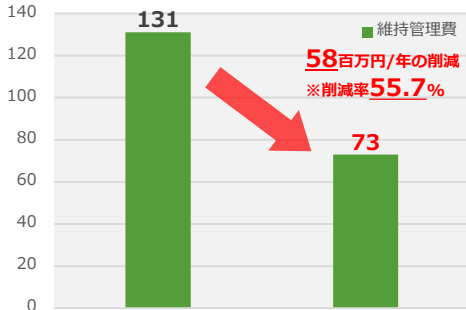
老朽化した焼却施設（厚岸町）

▼ 下水汚泥処理施設の整備

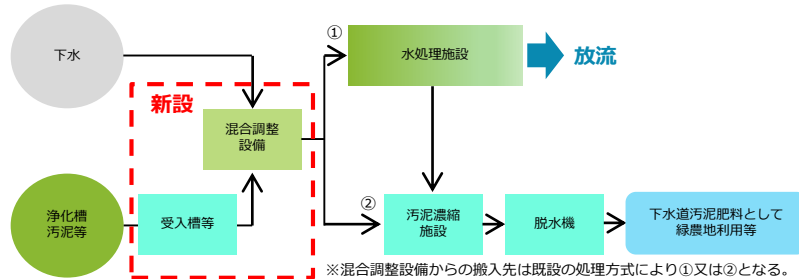
○ 下水汚泥処理施設の集約化及び減量化施設概要図

◇ 下水道広域化推進総合事業（旧称MICS）導入による効果事例（十勝川流域下水道事業 H30年4月導入）

単位：百万円

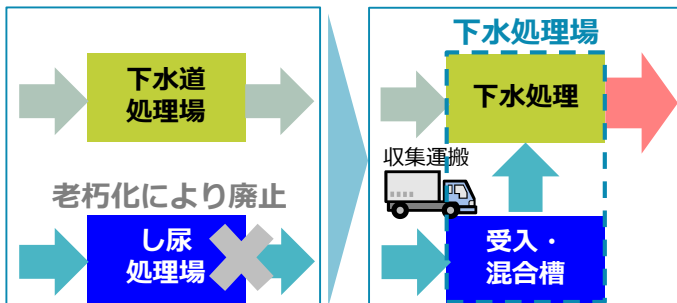


し尿処理施設の改築・更新 下水道広域化推進総合事業



行政施設の集約化による建設費・維持管理費の削減

○ し尿受入れ施設の整備



老朽化したし尿処理場（白老町）～50年経過